

東京湾再生官民連携フォーラム 令和 2 年度事業計画

令和 2 年度事業計画

II. 令和 2 年度の活動内容

平成 31 年度から中長期計画 3 年間で策定し、今年度は中間の 2 年目にあたります。目標により近づけるよう令和 2 年度は以下の活動を行います。

≪活動内容≫

1. 情報（提供・仲介）の受発信・交流（広報）

1) 「東京湾の日」活動について

「東京湾の日」活動の象徴的な日として、10 月 1 日に定め、その日を起点にして 10 月～11 月にわたり複数の活動を展開するとともに広報 PR 活動の充実を図ります。

たとえば、毎年、横浜・赤レンガ倉庫広場・周辺で開催する「東京湾大感謝祭」と「海ごみ、プラゴミ・ストップ 2020 活動」とのシナジー効果を図ります。

併せて、東京湾周辺 3000 万人の住民・生活者に、東京湾の環境資源に気付いていただき、その豊かさと自然資源、東京湾の産業・文化を育てていく大切さの気運を高めます。

2) ウェブやメール配信による継続的な PR 活動

HP、Facebook など WEB サイトをさらに充実させ、会員を繋ぐ「東京湾-News Letter」（メール配信目標数：年間 50 通）や東京湾情報カレンダーの活用を図ります。平成 31 年度から着手の海ごみ、プラゴミに対する清掃情報の交流も併せて実施します。また改めて、既存四媒体（新聞、テレビ、ラジオ、雑誌）、さらには業界紙誌へのフォーラム活動の情報提供と理解促進を図ります。HP には、フォーラム活動の紹介とともにプロジェクトチームの活動情報の公開を促進していきます。

3) フォーラム組織活動の支援組織（ロゴの活用等）について

フォーラムの外部活動や情報発信、新しく活動する「東京湾の日」活動などにフォーラムロゴと共に、支援を頂いている一般財団法人セブン-イレブン記念財団等支援組織のロゴを併記していきます。

4) 東京湾再生アンバサダーの活用

二名の東京湾再生アンバサダー

1. 梶 太一 氏（日本テレビアナウンサー）
2. ガリガリ君（赤城乳業株式会社 キャラクター）

には、平成 28 年 3 月の就任以来、「東京湾大感謝祭」における東京湾の環境再生についての講演会、他イベント会場での活動、日頃の新聞、雑誌、TV 等での発言などを通じて、折にふれ東京湾の魅力にふれていただきました。引き続き PR をして頂きます。

また、東京湾ぐるっとスタンプラリースタンプシート表紙への掲載など、親しみやすいイベントづくりへの活躍を図ります。

5) 東京湾スタンプラリーの支援

現在、9つのPTが活動を行っています。この中でも、特徴ある東京湾の施設連携・ネットワーク化を目指して活動している「東京湾の窓PT」の活動は市民と密接な関係にあります。昨年度は2万冊のラリーシートを配布しました。4回目となる今年はラリーシート3万冊の配布を目指し、活動を広くPRします。より多くに人たちがスタンプラリーに参加することにより東京湾に対する自然資源の大切さに気付く機会や環境再生の機会を増やします。

6) 会員の募集活動

毎年徐々にではあるが増加している会員。その募集は、HPによる会員入会案内の実施、東京湾大感謝祭での会員募集チラシの配布など、外部活動など機会あるごとにフォーラム会員の団体・個人の募集を実施していきます。また会員向けメール配信を実施、HP NEWS 欄などによる情報提供を実施しています。現在会員は個人317名、団体会員128組織（令和元年11月30日現在）になりました。会員を継続して募集し、目標として、個人会員500名、団体会員150組織の会員を目指します。また、PTなどへの活動参加も随時募集対応していきます。

7) イベント・展示会などへの参加

フォーラム活動の幅広い認知を図るため各種シンポジウム、セミナー、ポスター展などへの出展や展示会への参加を実施します。

8) チラシ：「みんなの東京湾みんなで再生」の活用

CSR-NPO未来交流会、経団連自然保護協議会主催の展示、東京湾大感謝祭など、初めて接する方々に対して、東京湾官民連携フォーラム活動の説明用に活用していきます。1,500部の印刷・配布を予定しています。

9) 東京湾大感謝祭でのステージ、海の学び場コーナーなどの活用

横浜赤レンガ倉庫において開催するイベント「東京湾大感謝祭」を、「フォーラム活動の発表の場」として継続して活用していきます。

2.個別政策への取り組み（交流・連携活動）

●交流・連携活動

1) PT@2020 未来クロス活動（PT活動報告）の実施

異なるPT相互の交流やPTメンバーの相互参加による多様な連携活動の実施に向けて意見交換を行います。PT活動や政策提案に関連した共通の課題を取り上げ、PTのモチベーションを高めるために実施します。昨年度は、事務局が用意した新春・意見交換会の場で、異なるPTに属するメンバー間で東京湾の再生のありかたについて議論が始まるなど、フォーラムの在り方まで視

野に入れた議論や交流が始まりつつあります。

- 2) 東京湾の日活動や海ゴミ・プラゴミクリーンアップ活動のなど、具体の活動として啓発活動の実施について討議などを図っていきます。

さらに、ネットのコミュニケーションツールなどの活用により、個々の活動をつなぎ合わせ輪を広げる努力をします。

- 3) 東京湾をフィールドとして活動している企業、団体・組織、個人の方々に対して、市民目線からみた表彰、称賛方法・顕彰制度を検討していきます。

〈ツールの開発・実施〉

・「東京湾の日」活動について

東京湾の実態への興味関心を子育てファミリーの家庭の中にも浸透させていく活動を行います。そのために、参加活動メニューの整備、例えば、家庭向けの季節のお魚カレンダーの作成や東京環境マップなどの配布により東京湾を身近で大切な自然資源などとして意識する活動を行います。連携企画として教育委員会や近隣の小学校のフィールドワークショップへの参加啓発、体験乗船会(船上学習、観察会)などの体験・経験するメニューの検討整備を行います。

・東京湾メンバーズカードの創設

カードをきっかけとして、海の日の小さな活動に始まり、東京湾環境一斉調査への参加、スタンプラリーなどのへの協力などの行動へと発展していくことをねらい、東京湾メンバーズカードの制度を創設します。コアメンバーを中心としてスタートし、実際の参加者を増やし、日常的に考えてもらう方々を増やすための活動をおこなっていきます。

- 4) CSR-NPOの交流会の実施

令和2年度も引き続き交流会を実施するとともに、NPOと企業間の交流実績を高めるとともに、業界間の垣根を越えた交流を行い、参加組織団体への情報フォローや具体的な相談など受け入れ活動を推進していきます。CSRテーマは幅広く、海ごみ、プラゴミ・ストップ対策を中心に、地球環境、気候変動、自然資源の保全や活用、持続可能な開発目標(SDGs)なども視野に入れて今後活発な議論を作り出していきます。

引き続き一般財団法人セブン-イレブン記念財団、経団連自然協議会さまの支援を受け活発な交流活動を実現していきます。

参加組織・団体、企業の相互の事業を紹介し合うことで、それぞれの組織が抱えている課題解決の糸口となる場を提供します。

・令和2年度は7月実施予定

■ 令和2年度 CSR-NPO 未来交流会 (予定)

(1)開催日時(案)：令和2年7月16日(木) 13:00~16:30

(2)開催場所：東京都千代田区麴町5-1 弘済会館(予定)

(3)参加目標：フォーラム会員 + 非会員：企業、NPO等40団体

(4)参加費：500円/人（会場費、資料代、お茶代）

(5)交流会プログラム予定

クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2020 交流会企画

・講演テーマ：「海ごみと私たちのライフスタイル その生活財からの減量作戦」（案）

・事例研究：①クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2020 連携」（案）
（企業、NPO）

②NPO 連携による企業活動と環境投資（ESG 投資）（案）

ブルーカーボンの現状と進展

・相互交流情報交換：グループディスカッションなどによる参加企業、NPO等交流

より多くの組織が参加できるように、今までの経験と反省などを含めて交流会開催の工夫を行います。＜要点＞ ①企業組織の参加増の検討 ②交流会でのマッチング事例づくりの実施(交流会のフォロー作業の実施) ③交流会でのマッチング方法の検討（グループセッション、参加組織のポスターセッション枠の提供など、方法の検討） ④名刺交換時間の設定など

■令和2年度の目標

・令和2年度予定：7月16日開催 参加：40団体 人数：60名の目標

・上場企業へのCSR-NPO未来交流会の役割認知PR

・NPOの活動を広く知らせるためにより細分化したテーマの追求。参加者の専門性を引き出し、最新事例などのノウハウ、知見の情報提供の場を提供する。

・フォーラム活動を市民・生活者へのPR活動の促進強化活動

●他団体との連携

引き続き国連生物多様性10年日本委員会、経団連自然保護協議会などへの参加協力をはじめ様々な団体との連携を続けます。更に新たに日本財団「海と日本PROJECT」推進パートナー会員への参加など各組織団体と連携したフォーラム活動を推進し、東京湾の水環境の改善、生き物保全といった地球環境全体の取り組みを図っていきます。

あらたに始まった（環境省）「プラスチック・スマート」キャンペーンの参加協力を実施します。

フォーラム会員への海洋プラスチック問題の解決に向けた協力連携活動を行います。

こうした連携により「東京湾再生推進会議」や「東京湾の再生のための行動計画（第Ⅱ期）」を応援して行きます。

●後援・協賛の受付

会員や関連団体の実施するイベントや講演会に対し、令和2年度も同様にフォーラムの「後援・協賛」を実施していきます。昨年度は3件の後援・協賛に対し、今年度は6件の後援・協賛を目指します。

西なぎさ発:東京里海エイドD E X T E - K主催のプロジェクトの後援等を実施予定です。さらに、クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ活動に結び付く活動への後援・協賛を実施し

ていきます。

●調査研究（PT サポート）

PT活動を支援し、主に現場や実証作業、ワーキングなどPTのみでは手が足りない具体的活動への支援を図っていきます。例えば、

- ①「指標活用PT」は、海ごみなどの項目をはじめ東京湾の指標となるデータの収集、アンケート調査を行ってきています。今年度もフォーラムHP利用しての関連他団体へのアンケートへのサポートを実施します。
- ②東京湾にある施設のネットワーク化支援・東京湾の窓PTのスタンプラリーを応援するネットワーク作りの支援を行います。またスタンプラリー実施経費の助成応募への助言、HPでのスタンプラリー紹介、景品選定への相談など、運営面でのサポートを実施します。

特徴あるPT活動を推進できるようフォーラム事務局では、縁の下のサポートを行っていきます。

●相談窓口（コンサルティング）

- ①連携・調整の活動で具体化された相談受付をウェブや会員とコミュニケーションし、実施していきます。交流会で新しい組織団体などからの相談を実施していきます。
- ②PT活動における多様な主体との相談、調整等を行います。自然環境調査における届け出文書などの共通化や参照ひな形の提示など、お手伝いします。

●啓発・人材育成

各PTの啓発・人事育成サポートの実施に取り組みます。特に、PTが独自に必要な資金を獲得できるように、助成金申請のノウハウを伝えていきます。

3. 統一テーマでの活動

事務局機能の中でも、力を注いでいるのが統一的テーマでの活動です。東京湾を貴重な環境資源としてとらえ、流域住民の生活環境、文化、産業の豊かさと多様性を支えるリソースを大切に、これを見守るソーシャルなネットワーク形成に力を注いできました。生活者のライフスタイルの変革が迫られる中、オリンピック・パラリンピック2020後を見据えた「新しい東京湾」を模索してきました。

フォーラムのPTの活動は、自分たちの興味のある個別の分野から出発しています。例えば、指標活用PTによる東京湾の実態を把握するための指標づくり、生き物が生活できる場を広げる実証実験調査活動など、また東京湾の施設をつなげる活動に取り組む東京湾の窓PTなど、それぞれの分野で具体的な成果をあげ始めています。この個々のPTの役割を有機的につなげ、フォーラムとしてあたらしい「東京湾」の未来像を作り上げていくことが大事です。

地球温暖化対策、気候変動などによる変化が今後大きくなるなか、人が織りなす重要性に着目し、東京湾周辺生活者に対して普及啓発活動を行っていきます。

●「東京湾の日」活動

あらたにフォーラム活動を象徴する「東京湾の日」を設け、東京湾の未来を描く活動検討を行います。未来に向けてのグローバルな課題の海ゴミ、プラゴミ対策の活動として、足元からの展開である「クリーンアップ東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2020」を進めます。

さらに、フォーラムのPT活動の発表のあらたな「場」として、東京湾関連施設（海上公園、自然観察センター、博物館など）で、一定の期間、展示などを行い、活動の紹介を実施します。今まで横浜赤レンガで開催してきた東京湾大感謝祭は、統合的な発表の場として今後も活用します。

①クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ 2020 活動

東京湾全体に及ぶ共通目標を掲げての参加型活動を促します。私たちのライフスタイル・海ごみ・プラスチックごみの減量を通じて、東京湾の周辺に住む私たちのライフスタイルを考え直し、東京湾の恵みの促進を図っていきます。

・実施活動について

海ごみ・プラスチックごみ クリーンアップ活動実施 既存活動の輪を作ります。

- ①海ごみ・プラスチックごみ クリーンアップ活動の拠点作り
- ②会員を含めて既存活動団体との連携・連動
- ③新たな連携活動（企業のCSR活動などとの連携）

官民連携の推進

- ①いままで独立して活動していた各グループの輪を作る。
- ②ごみをなくする→拾う→処理する の一連の繋がりを作る。
- ③つながり具合を参加者が確認し自分の位置を確かめる。

当面の参加推進対象

東京湾再生官民連携フォーラムの会員をはじめ関連業界、官庁、9都県市の自治体、行政機関等の連携を図り、クリーンアップ活動を実施し、特に、プラゴミに対する啓発活動により東京湾に周辺 3 千万の生活者のプラゴミ対策意識の醸成につなげたい。また企業等への参加の呼びかけを行う。

キャンペーン期間の活動

10月1日～11月30日の2ヶ月、11月7日（候補日）

実施候補エリア

候補地（東京都の管理するエリア・海上公園など）

- ①会員等の組織連携による活動（すでに会員が活動拠点としているエリア）
 - 葛西海浜公園 西なぎさ、東なぎさ
- ②東京湾、湾奥エリアのクリーンアップ活動（新たな活動連携のエリア）
 - 城南島海浜公園、東京港野鳥公園など

広報 PR 活動の実施

- 1.東京湾全体に及ぶクリーン活動の醸成のためのPR
- 2.東京湾 9都県市のエリア内のクリーンアップ活動紹介
- 3.チラシ、ポスター、ウェブサイト、SNS等の活用によるPR

4.東京湾クリーンアップ活動 参加カードの発行（※実際の参加者に、感謝の意を表すためのカード&参加証）

②東京湾大感謝祭 2020 の開催について

令和 2 年度も引き続き横浜・赤レンガ倉庫広場にて、10 月 24 日（土）、25 日（日）に東京湾大感謝祭 2020 の開催を予定しています。横浜で 7 年目を迎え、横浜市の共催参画が実現し、地元定着型のイベントとして受け入れられています。

4.政策提案

上記 1. から 3. の活動により得られた東京湾再生への成果、課題等を取りまとめ、東京湾再生推進会議へ、具体的な取組や改善策等の提案を目指します。令和 2 年度は、質・量ともに向上した政策提案ができるように P T 会合や企画運営委員会での審議の深化を心がけます。

なお、政策提案づくりの検討段階に入っている「生き物生息場づくり P T」では、昨年度から政策提案の議論が行われています。提案が実現に結び付きやすいように、質の向上を目指したサポートや提案のフォローアップを実施していきます。

5.事業化、スポンサードの獲得について

事業の推進に当たり、フォーラムの活動を支援していただく組織等へのスポンサードの獲得を目指します。企業からの賛同を得やすい工夫を行い、事業推進を図ります。また東京湾再生のための寄附等の協力呼びかけをさらに実施していきます。

6.令和2年度スケジュール

令和2年度 月別スケジュール		
申請活動実施スケジュール	2020年 4月	CSR-NPO未来交流会2020準備検討 「東京湾の日活動」PR方法等の検討 海ごみ清掃活動、海ごみ事例の情報収集/協力検討 東京湾大感謝祭参加企業募集/(イベント企画調整 月/1回実行委員会開催) クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ2020活動準備 東京湾再生アンバサダーの任命(手交) フォーラム会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミ活動(西なぎさ発:東京里海エイド4月18日(土)参画予定)
	2020年 5月	前年度事業報告、監事監査 R2 第1回企画運営委員会開催 決算報告の承認後、事業報告、会計報告提出 「東京湾の日活動」のPRの具体化検討(チラシ ポスター等) みんなの東京湾みんなで再生 PT紹介展示(大森海苔のふるさと館など) 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド5月16日(土)参画)
	2020年 6月	CSR-NPO交流会2020テーマ選定作業 「東京湾の日活動」の検討(東京湾体験学習など) 東京湾一斉調査への協力準備(「東京湾の日活動」PR) 東京湾ぐるっとスタンプラリーの企画推進作業 各PTの政策提案の進捗確認 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド6月20日(土)参画)
	2020年 7月	東京湾再生官民連携フォーラム CSR-NPO未来交流会2019作業 東京湾ぐるっとスタンプラリーのPR・営業活動、編集 R2 第2回企画運営委員会開催 「東京湾の日」活動PR スポンサー営業活動 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド7月18日(土)参画)
	2020年 8月	CSR-NPO未来交流会2020案内の検討 モニタリングPT支援(調査協力:東京湾一斉調査PR)の実施 PT長会議開催(政策提案について) 政策提案意見収集 クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ2020活動のPR準備 東京湾メンバーズカードの配布 指標活用PT データ収集の推進 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド8月15日(土)参画)
	2020年 9月	東京湾の日10月1日 広報活動作業準備 東京湾再生官民連携フォーラム・総会準備 フォーラム寄付金集めなど方法の検討 R2 第3回企画運営委員会開催 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド9月12日(土)参画)
	2020年 10月	東京湾の日10月1日 広報活動 東京湾再生官民連携フォーラム 第8回通常総会 東京湾シンポジウム開催(東京湾再生官民連携フォーラム後援) 東京湾大感謝祭2020開催(共催) 東京湾メンバーズカードの配布 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド10月17日(土)参画)
	2020年 11月	東京湾大感謝祭報告 クリーンアップ 東京湾 海ごみ、プラゴミ・ストップ2020活動実施 海ゴミ・プラゴミクリーンアップ活動の情報提供 会員募集(団体、個人)/海ゴミ・プラゴミクリーンアップ(西なぎさ発:東京里海エイド11月21日(土)参画)
	2020年 12月	東京湾再生官民連携フォーラムPT活動支援 PT連携の確認・検証 東京湾ぐるっとスタンプラリーの結果報告 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2021年 1月	年度事業報告書の作成 次年度計画の作成・検討 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2021年 2月	次年度PT事業の準備 PT@2020未来クロス活動 会議の開催 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)
	2021年 3月	R2 第4回企画運営委員会開催 スポンサー営業活動 8 東京湾再生官民連携フォーラム会員募集(団体、個人)

7.令和2年度予算

令和2年3月10日時点

収入の部

令和2年3月10日
(単位:円)

科 目	令和2年度予算	備 考
寄付金収入	100,000	
助成金収入	4,567,095	セブーンイルブン記念財団
雑収入	0	
単年度収入	4,667,095	
前年度繰越金		
収入合計	4,667,095	

支出の部

事務局経費(1)	3,064,302	
事務局人件費	2,580,000	事務局員稼働
事務局運営費	484,302	HP管理・メール配信等、通信費用
フォーラム事業費(2)	1,502,793	会議室賃借料、交流会の実施、広報PR費等
単年度支出計(1)+(2)	4,567,095	
収支差額	100,000	
次年度繰越金		

 <p>東京湾再生官民連携フォーラム 東京湾再生官民連携フォーラム</p>	
 <p>この事業は「国連生物多様性の10年日本委員会（UNDB-J）」が推奨する事業として認定を受けています</p>	<p>東京湾の魅力をみなさまに</p> <p>東京湾再生アンバサダー</p> <p>榎 太一 アナウンサー</p> <p>ガリガリ君 赤城乳業(株)</p>